

## 2022年（令和4年度）事業報告書

## 1 事業の成果

令和4年度は、初年度ということから、ボランティア活動事業の運営について効果的な実施方法を模索しながらの活動となった。定期練習の際では、子どもたちに教育的視点となって指導する実践的なカリキュラムの構築が課題となった。またその他、運営方法に関しても課題が浮き彫りになったが、明確化された点は評価すべき点での成果である。

賛同員（生徒）が、40名を越す多数となり、年度当初時点での計画を大幅に越す成果となった。地域スポーツの活性化や子どもの健全育成に一部分でも寄与できたことは、団体にとっての財産となった。

## 2 事業の実施に関する事項

## (1) ボランティア活動（非営利）に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	支出額
① 競技力向上、健康増進、けが・故障予防等の講習会の事業	賛助正員・賛同員に対して各種講習会を行った。	1 2022年4月 2 2023年3月	1 リプラス鍼灸整骨院内 2 磐田市陸上競技場	1 約15名 2 約40名	¥0
② 定期練習会の開催事業	賛同員に対して定期練習会を行った。	週2回実施	1 磐田市陸上競技場 2 小笠山総合運動公園エコパ	各練習10名～40名の参加	¥298,000
③ 大会、イベントの参加事業	各陸上競技協会が開催する試合に賛同員が出場した。	年度参加出場計画を基に出場。	1 小笠山総合運動公園エコパ 2 草薙総合運動場 3 磐田市陸上競技場	各参加大会によって10名～30名。	¥153,947

## (2) その他の事業

事業名	事業内容	実施日時	従事者の人数	支出額
① 広報の事業	HPの作成を実施し、維持管理した。	通年	不特定多数	¥12,000 ※HP維持管理費
② その他の事業※2	運営に際して必要となる備品の購入。（ユニフォーム等）	随時	団体関係者	¥83,317

- ※1 定款に掲載（第5条）している事業内容及び令和4年度事業計画書を基に報告。
- ※2 練習時等に必要となる備品の購入は、経常費用の予備費より支出のため支出額に計上、報告する。ユニフォームやチームTシャツ、個人ゼッケンの個人物の購入は、使用者個人負担であるので、支出額での計上は無しとする。